

平成16年12月期

第3四半期業績の概況(連結)

平成16年11月15日

上場会社名 大和冷機工業株式会社 (コード番号:6459 東大各第一部)
(URL <http://www.drk.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 尾崎 敦史
問合せ先責任者 役職名 専務取締役 業務総括本部長 氏名 三浦 明 TEL(06)6767-8171

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成16年12月期第3四半期の業績の概況(平成16年1月1日~平成16年9月30日)

(1) 連結売上高

ご参考: 単独売上高

(百万円未満切捨)			(百万円未満切捨)		
	百万円	%		百万円	%
16年12月第3四半期	16,920	-	16年12月第3四半期	26,906	-
15年12月第3四半期	-	-	15年12月第3四半期	-	-
(参考)15年12月期	18,917		(参考)15年12月期	32,714	

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[連結売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、当初、アジア向け輸出増加や設備投資が上向くなど、一部では明るい兆しが伺えましたが、下期に入り、原油高による原材料値上げの影響増や天災などによる業績不振などで、業種間、地域間又は企業間によってその業績の回復傾向に大きな格差がある状況となっております。

当社グループの主力市場の一つである外食産業においては、上期のみならず下期に入っても、「堅調に回復」しているとは判断しがたい状況にあり、また、BSEや鳥インフルエンザの問題の動向がさらなる影響を及ぼす可能性も秘めております。

このような中で、当社グループはいつも「お客様の顔が見える営業(Face To Face)」を目指し地域密着型の直販体制を推進するとともに、需要の創造と高付加価値製品の開発でお客様に役立てまいりました。この結果、第3四半期における連結売上高は16,920百万円となりました。

(2) 当第3四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年12月期の連結業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	22,500	5,000	6,000	116	27

ご参考: 平成16年12月期の単独業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	34,500	4,100	2,100	40	69

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。